

## 第3回三木市学校給食審議会 次第

日 時：令和5年6月16日（金）

午後7時から

会 場：三木市役所5階大会議室

### 1 開会

### 2 議決事項

答申書（案）について

議案第1号 三木市学校給食基本方針の策定について

議案第2号 三木市学校給食費の改定について

### 3 答申

学校給食の実施に関する重要な事項について（一部）

### 4 議事

三木市学校給食に関する課題について

### 5 閉会

## 学校給食に関する課題について

三木市の学校給食では、地産地消により郷土愛を育むことを含め、可能な限り、市内産の農産物を使用しています。

今後、市内産野菜の使用促進及び環境教育からの視点で農薬や化学肥料等をできるだけ使わない食材の活用についての検討が必要です。

### 1 三木市産農産物等の使用状況

野菜については、市内産野菜の供給可能年間計画に基づいて、献立を作成し、JA・ようしょう会の生産団体から19品目を購入しています。

購入費用としては、市内産と市場価格の差額を地産地消差額調整費として市が補助しています。

また、米は、三木市産米を全量使用しています。

#### (1) 令和4年度 野菜年間使用量

(単位：kg)

	品目	全体	市内産	市場
1	さつまいも	3,029	1,076	1,953
2	じゃがいもL	17,047	3,345	13,702
3	キャベツ	8,962	4,571	4,391
4	大根	8,585	2,399	6,186
5	むきたまねぎ	28,065	8,345	19,720
6	トマト	883	275	608
7	なす	943	102	841
8	青ねぎ	2,945	2,845	100
9	はくさい	7,076	2,895	4,181
10	ピーマン	1,122	207	915
11	緑豆もやし	5,714	5,714	0
12	マッシュルーム	1,093	1,093	0
13	ほうれん草	1,119	776	343
14	えだまめ(黒豆)	238	238	0
15	京ねぎ(根深ねぎ)	1,207	38	1,169
16	レタス	1,965	56	2,021
17	卵	646	646	0
18	味噌(錦みそ)	814	413	401

19	ぶどう（ピオーネ）	294	294	0
20	人参	15,873		15,873
21	里芋	454		454
22	アスパラガス	276		276
23	おかひじき	88		88
24	かぼちゃ	2,182		2,182
25	ごぼう	2,581		2,581
26	セロリ	19		19
27	しょうが	220		220
28	たけのこ	475		475
29	チンゲン菜	2,305		2,305
30	にら	418		418
31	ブロッコリー	391		391
32	えのきたけ	1,324		1,324
33	しめじ	1,508		1,508
34	生しいたけ	442		442
35	エリンギ	94		94
36	グリーンピース	87		87
37	小松菜	1,660		1,660
38	カリフラワー	493		493
39	れんこん	2,116		2,116
40	さやいんげん	109		109
41	菜の花	31		31
42	冬瓜	539		539
43	オクラ	154		154
44	きゅうり	122		122
45	ズッキーニ	218		218
	合計	125,991	35,153	90,838

(2) 年度別使用量

(単位：トン)

	年 度	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4
使用 量	全 体	139.6	128.4	120.9	133.9	126
	うち市内産	29.1	26.6	32.2	33.2	35.2
	割 合	20.9%	20.7%	26.6%	24.8%	27.9%

### (3) 精白米使用量

(単位：kg)

品目	全体	市内産	市場
米（コシヒカリ）	63,630	63,630	0

\* 市内産割合：重量ベース 100%

## 2 有機農産物について

### (1) 定義

① 有機農産物：有機 JAS 認証された農産物だけが「有機」「オーガニック」と表示が可能

\* 有機 JAS 規格とは

- ・ 周辺で使われた禁止農薬や禁止肥料が入ってこないように管理し、種まき又は植え付けの前の3年以上の間、有機栽培を行った水田や畑で生産する。
- ・ 環境に配慮した土作りを行い、禁止された化学肥料や土壌改良資材だけで土作りをする。
- ・ 害虫、病気雑草対策は認められた農薬だけが使用できる。
- ・ 収穫後も、有機以外の農産物と混ざったり、薬品などにより汚染されたりしないように管理する。

② 無農薬農産物：この表示は消費者が農薬を含まないとの間違ったイメージを抱くので、表示ガイドラインでは禁止されている。農薬・化学肥料が慣行レベルの50%以下で栽培された農産物を特別栽培農産物と表示し、農薬を使用していない場合は、栽培期間中不使用と表示できる。

③ 兵庫県認証ブランド

- ・ ひょうご安心ブランド：化学肥料・農薬を5割以上低減し、堆肥等による土作りをし、残留農薬が国基準の1/10以下をクリアした農産物
- ・ ひょうご推奨ブランド：化学肥料・農薬を3割低減等の生産方法や品質等に個性や特徴があること。給食使用物資として、山田錦みそ、ぶどうなどがある。

## 3 学校給食における有機農産物の使用について

豊岡市：特別栽培米（減農薬米）を提供しているが、有機米（無農薬米）の増産を目指し、試験提供を予定している。

丹波市：「有機の日」として年に2回程度有機米を提供。差額は国の補助金制度を利用

丹波篠山市：年間 1.4 トンの市内産の有機農産物を使用、差額は市が補助。

芦屋市：各校ごとに栄養教諭が独自の献立作成、発注をしているので、その中に有機栽培している農家もある。